

## 診療だより

平成 28 年 8 月発信

当院では、毎週水曜日に瀧田好一郎医師による呼吸器内科外来を行っております。今回は、換気機能や気道抵抗を検査する呼吸器機能検査についてご紹介致します。

### ① スパイロメトリー＝「スパイロメーター」検査

従来ら試みられている、呼吸のときの肺活量、呼気量、吸気量、残気量などを測定して、検査機器であるスパイロメーターを用い肺年齢や呼吸機能を調べる検査です。

### ② 呼吸抵抗検査（モストグラフ検査）

日本では平成 27 年 4 月より試みられている、気道の抵抗値を測定し機能を評価し、見やすいカラーのグラフで表示する検査機器であるモストグラフを使った検査です。

気管支喘息や COPD【慢性閉塞性肺疾患（肺気腫、慢性気管支炎など）】は気道に病気があり、中でも COPD は末梢気道に病変があり、その機能評価が困難かつ重要といわれています。

今までの従来の呼吸機能検査だけでは評価が難しい部分がありました。しかしモストグラフ検査では、安静呼吸をしてもらい短時間で気道病変の評価ができます。尚且つ、検査を受ける方に努力を強いることがありません。そのため小児（6 歳位）～老人まで幅広く検査が可能です。

また、モストグラフ検査は疾患の診断はもとより、吸入薬などの治療効果の評価にも役に立ちます。

当院では、従来の呼吸器機能検査（スパイロメトリー）に加えモストグラフを用い、呼吸器疾患の診断や治療に役立てており、患者さんには治療効果をグラフで見て実感して頂いております。

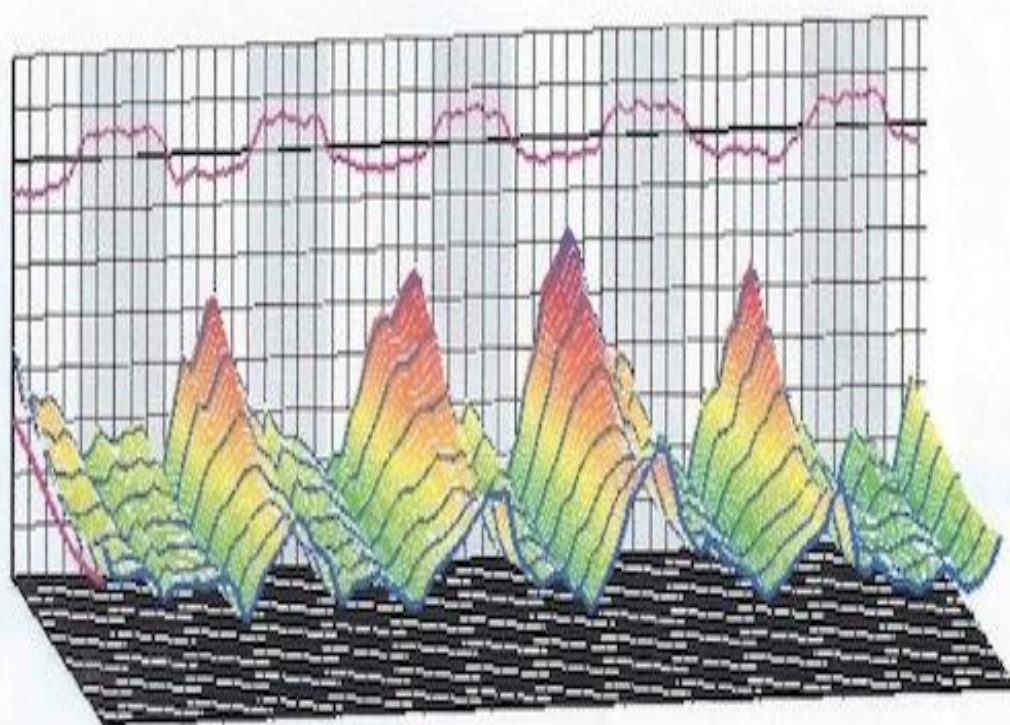
詳細を知りたい方、ご不明点などは瀧田医院分院へお問い合わせ下さい。

瀧田医院分院：0569-36-2111

モストグラフの全体写真



モストグラフの結果の例



周波数 : 1Hz/DIV

Rrs, Xrs : 1cmH<sub>2</sub>O/L/s/DIV

時間経過 : 0.5sec/DIV

呼気

吸気

